

クラウドによる 維持管理向けデータ管理システム



インフラマネジメントにおける3次元化技術の融合

国土交通省では、令和5年度のBIM/CIM 原則適用に向け、これまでの2次元図面ではなく、3次元データを活用したICT の普及を進めております。インフラの維持管理・更新の分野においても、3次元データを活用した新しい技術が期待されます。

福井コンピュータ株式会社は、東北大学大学院工学研究科インフラ・マネジメント研究センター（IMC）と株式会社インフラ・ストラクチャーズと共に、地方自治体向けの新しいインフラメンテナンスサイクルシステム（インフラの維持管理業務の点検・診断・設計・施工・記録等のサイクルを一元化したシステム）の構築を目的として、2021年4月に当共同研究部門を東北大学大学院工学研究科に開設いたしました。

福井コンピュータ株式会社は、本共同研究部門において、点検記録や施工後の納品データ、AI診断技術等から得られる情報をもとに補修等に必要情報の整理や図面生成に関する技術の実現を目指し、自社で培った3次元化技術も活用して、実効的なメンテナンスサイクルの確立に向け、新しいインフラメンテナンスサイクルシステムの構築に取り組みます。

インフラ情報マネジメントプログラム共同研究部門

記録・データ

東北大学IMCが構築した「東北インフラ・マネジメント・プラットフォーム (TIMP)」を活用

点検・ドローン

インフラ・ストラクチャーズのドローン・AIを活用した橋梁点検・調書作成支援技術

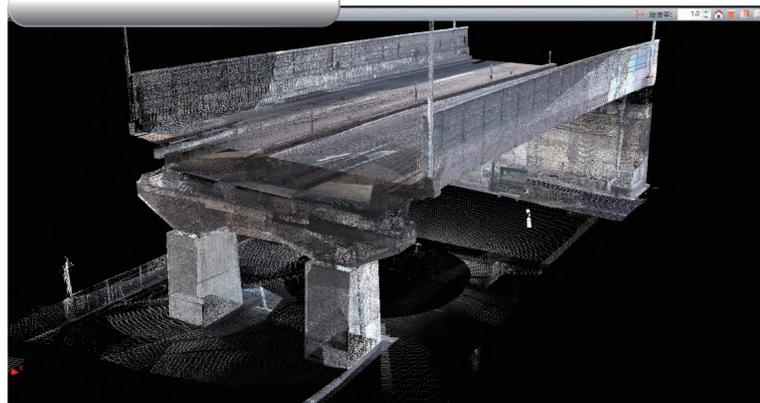
診断・AI

設計

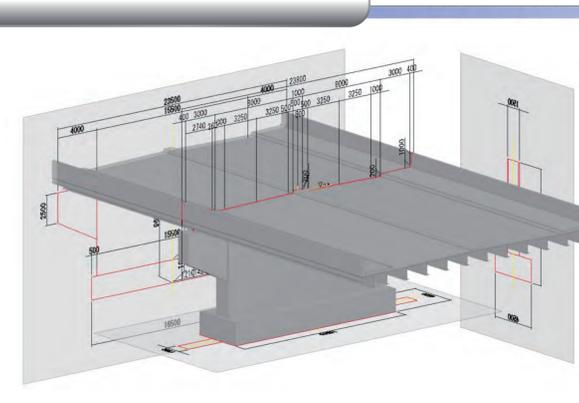
工事

福井コンピュータの3次元化技術を活用

点群データの活用



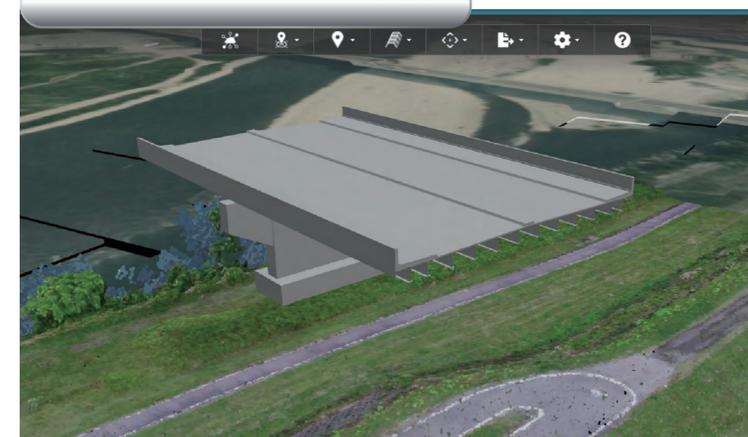
3Dモデルデータの活用



3DデータのVR活用



3Dデータのクラウド共有



お問合せ先

福井コンピュータ株式会社 建設インフラ事業部（担当：荒川）

TEL：0776-67-8860 HP：<http://www.fukuicompu.co.jp/>